

## 葛藤の始まり！

この時期の子どもは、少し先のことを予測して自分の行動を考えることができるようになります。自分の行動が思い通りに行くか、思い通りに行かない時にどうしようか、子どもなりの葛藤が始まる時期なのです。

この時期は、身近な人の気持ちにも敏感になり、家の人が不安に思っているとそれを感じ取って自分も不安になっていく場合もあります。何か子どもが心配になるような状況がないか振り返ってみましょう。

## 大きな行事の前では？

運動会や生活発表会等、園の大きな行事の前ではありませんか？

担任の先生に子どもの練習の様子を聞いてみてください。家では不安がっていても、実際には、他の子どもと元気に活動している場合が多いのです。

## 相談事例 ④ イライラ

年中になるうちの子は、いつも明るく何でも積極的にがんばる子だったのに、最近「どうせ、やってもだめだ。」等、投げやりなことを言うようになりました。どう接したらよいでしょう。



## がんばりを褒める！

園の行事等で、格好良くやろうと思うほど不安は大きくなるものです。「思いっきりがんばっていたら、うれしいな。」「がんばっているって、先生がほめていたよ。」等、少しくらいうまくいなくても周りの人は認めてくれていると感じるような声を日頃からかけてやりましょう。できた・できないという結果だけにこだわるのではなく、がんばって取り組んでいること自体を褒めてやるのが大切です。

## 冷静にじっくり聞く！

子どもの様子が落ち着いてから、まずじっくり話を聞いて、その時の様子を思い出させましょう。どうして悪口を言われるようなことになったのか、冷静に子どもの話を聞くことが大切です。

問い詰めるように話を聞いてしまうと、子どもは家の人が納得するような理由を作り出そうと実際にはおこっていないことまで話してしまうこともあるので、気をつけましょう。

## 園の様子を確認！

子どもの話を聞くだけでは、はっきりした状況はわかりません。担任の先生に、普段の様子の変化も含めながら聞いてみましょう。

相手の子は、仲良く話しかけている場合もあります。

## 相談事例 ⑤ いじめ？

うちの子が、同じ小学校に入学する予定の仲良しの友だちに「悪口を言われた。」と泣きながら帰ってきました。担任の先生に連絡した方がよいでしょうか。

## 大切な経験！

この時期の子どもたちは、仲間と活動し、けんかをしたり仲直りをしたりしながら、心を鍛えていきます。友だちとけんかをして何とかが自分達で解決していこうとします。「けんかをしては、いけません。」だけではなく、その友だちとこれからどうしたいか、どうしたら許すことができるか等を一緒に考えてやりましょう。

相手の思いを考え、自分の思いも伝えながら解決に向けて行動するという経験が、小学校の新しい仲間との活動をスムーズに進める力となります。